

第3章 不登校を経験した生徒および保護者へのアンケート調査 (クロス集計)

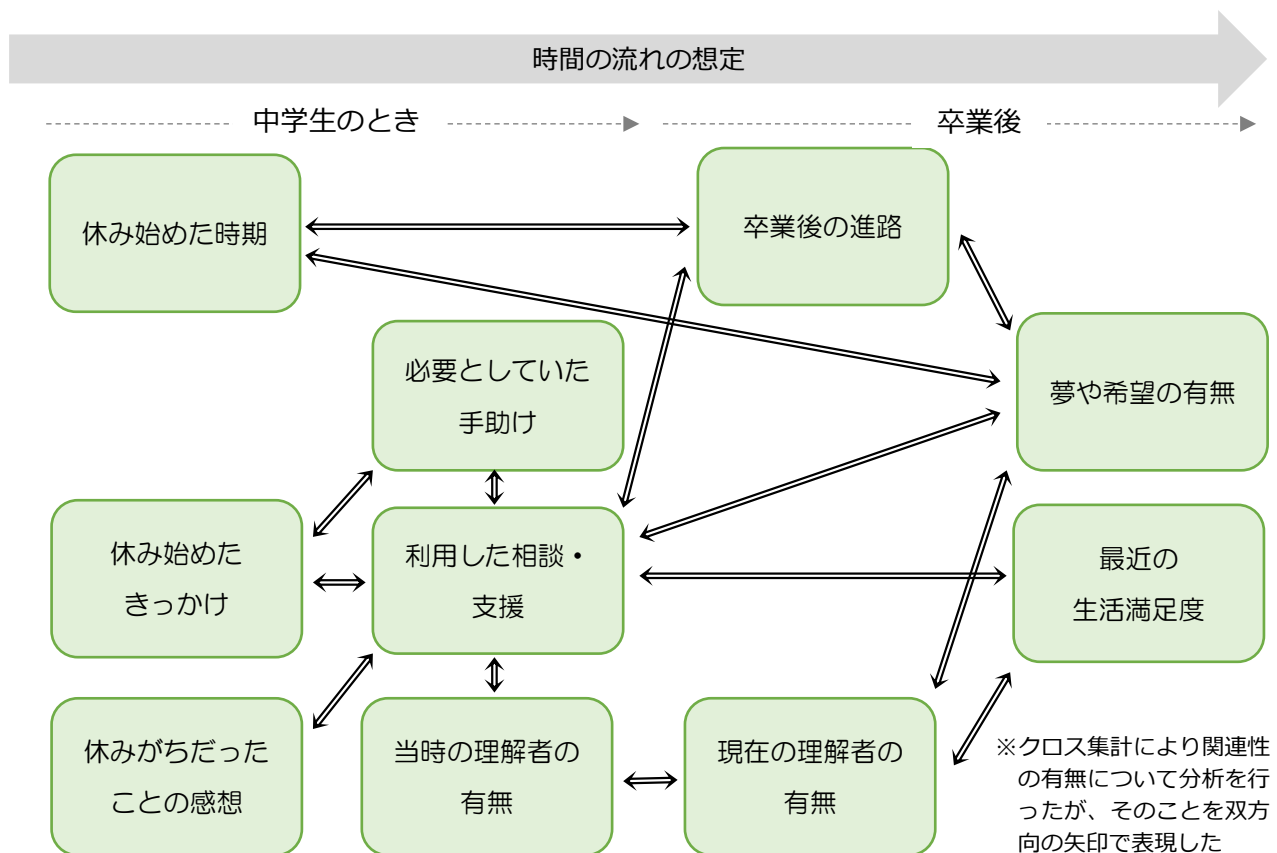
3-1 クロス集計の考え方、結果の概要

クロス集計については、下記のような枠組みにより分析を実施し、結果を整理した。

まず、不登校当時の様々な状況を理解するため、「休み始めたきっかけ」と「利用した相談・支援」との関係や、「利用した相談・支援」と「当時の理解者の有無」との関係などについて分析を行った（第3章 3-2）。分析結果からは、休んでいたころの状況の違いによって利用した相談・支援の内容が異なることなどが明らかになった。

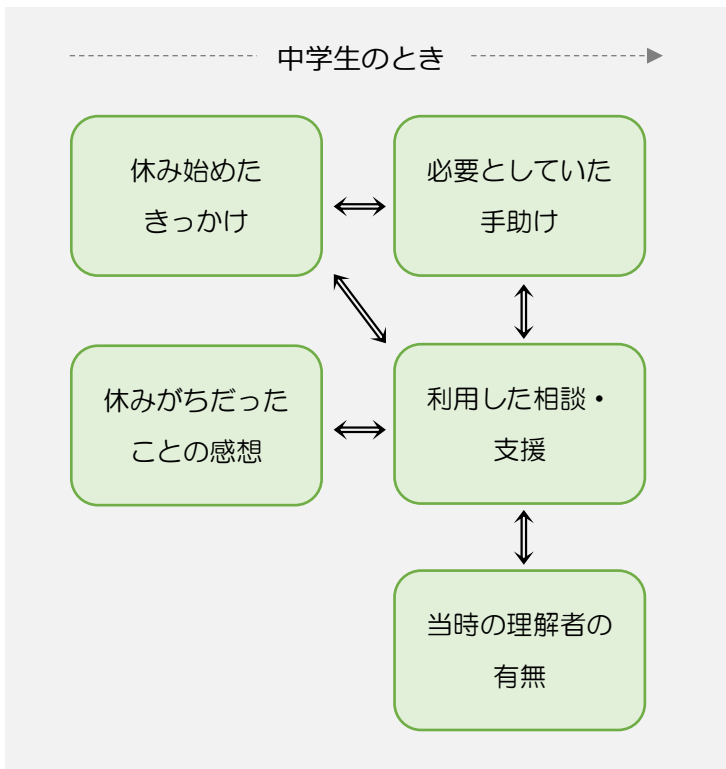
次に、「卒業後の進路」に着目した分析を行った（第3章 3-3）。分析の結果、利用した相談・支援の違いによって進路の状況が異なることなどが明らかになった。

その上で、回答者の現在の状況に関して、「最近の生活満足度」と「夢や希望の有無」に着目した分析を行った（第3章 3-4、第3章 3-5）。分析の結果から、現在理解者がいること³¹や、学校内外で相談・支援を受けた経験が、現在の状況に良い影響を与えていることが示唆された。

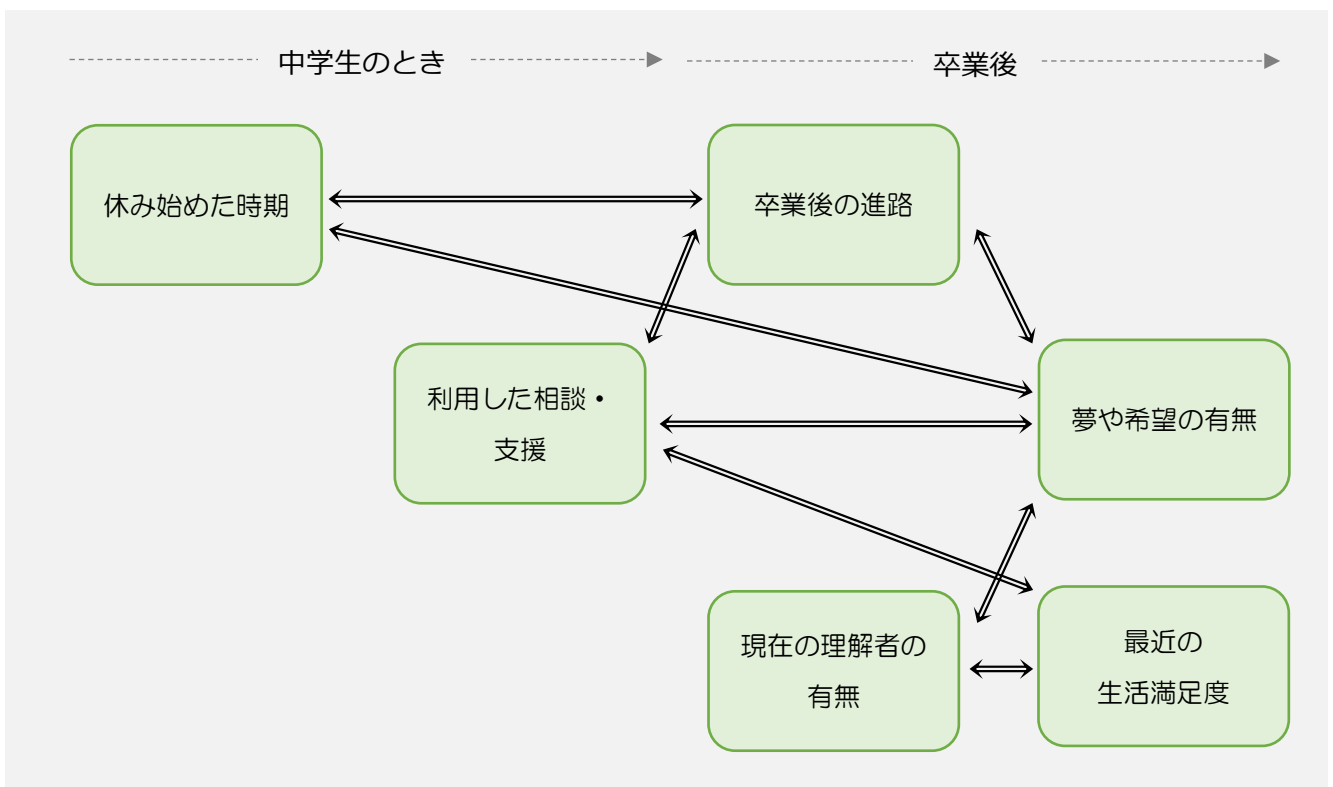


³¹ 「当時の理解者の有無」と「現在の理解者の有無」のクロス集計は本報告書に掲載していないが、別途行った集計において関連性が見られ、不登校当時に理解者がいた場合、現在理解者がいる割合が高いという結果が得られている。

【不登校当時の様々な状況に関する分析（第3章 3-2）】



【卒業後の進路や現在の状況に関する分析（第3章 3-3～3-5）】



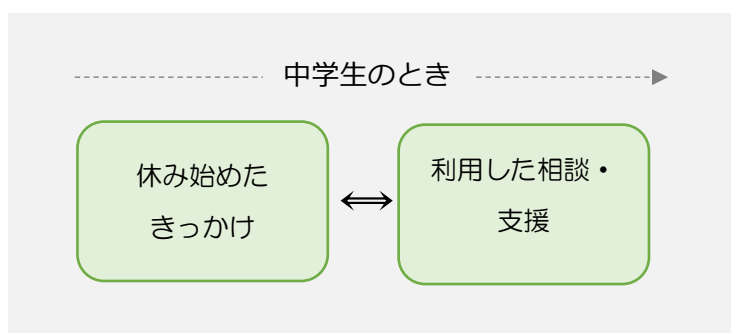
3-2 不登校当時の状況と様々な支援

3-2-1 学校を休み始めたきっかけと利用した相談・支援

学校を休み始めたきっかけ³²と利用した相談・支援³³との関係について、「先生のこと」がきっかけで学校を休み始めた方では、「保健室や相談室などの別室登校」を利用したと回答した割合が比較的高い（図表 3-2-1）。

「勉強のこと」がきっかけで学校を休み始めた方では、「学校の先生による家庭訪問や電話などの連絡」、「学校の先生やスクールカウンセラー等への相談」を利用したと回答した割合が比較的高い。

「学校やクラスに合わなかった」ことがきっかけで学校を休み始めた方では、「適応指導教室（トライ）等」を利用したと回答した割合が比較的高い。



³² 「友達のこと（いやがらせ、いじめ）」、「先生のこと」、「勉強のこと」、「学校やクラスに合わなかった」、「身体の不調」以外のきっかけについては、データの件数が少なかった（50件未満）ため、グラフへの掲載を省略した。

³³ クロス集計を実施するにあたって、「学校の先生による家庭訪問」または「学校の先生からの電話などの連絡」が「あった」と回答した方を、「学校の先生による家庭訪問や電話などの連絡」が「あった」方として、「学校の先生・保健室の先生との相談」または「スクールカウンセラー・心のふれあい相談員への相談」が「あった」と回答した方を、「学校の先生やスクールカウンセラー等への相談」が「あった」方として、「適応指導教室（トライ）」、「居場所ぱれっと」、「光が丘第一分室つむぎ」の利用が「あった」と回答した方を、「適応指導教室（トライ）等」の利用が「あった」方として分類している。また、次ページのグラフに掲載した支援以外については、回答割合が低かったため、表記を省略した。

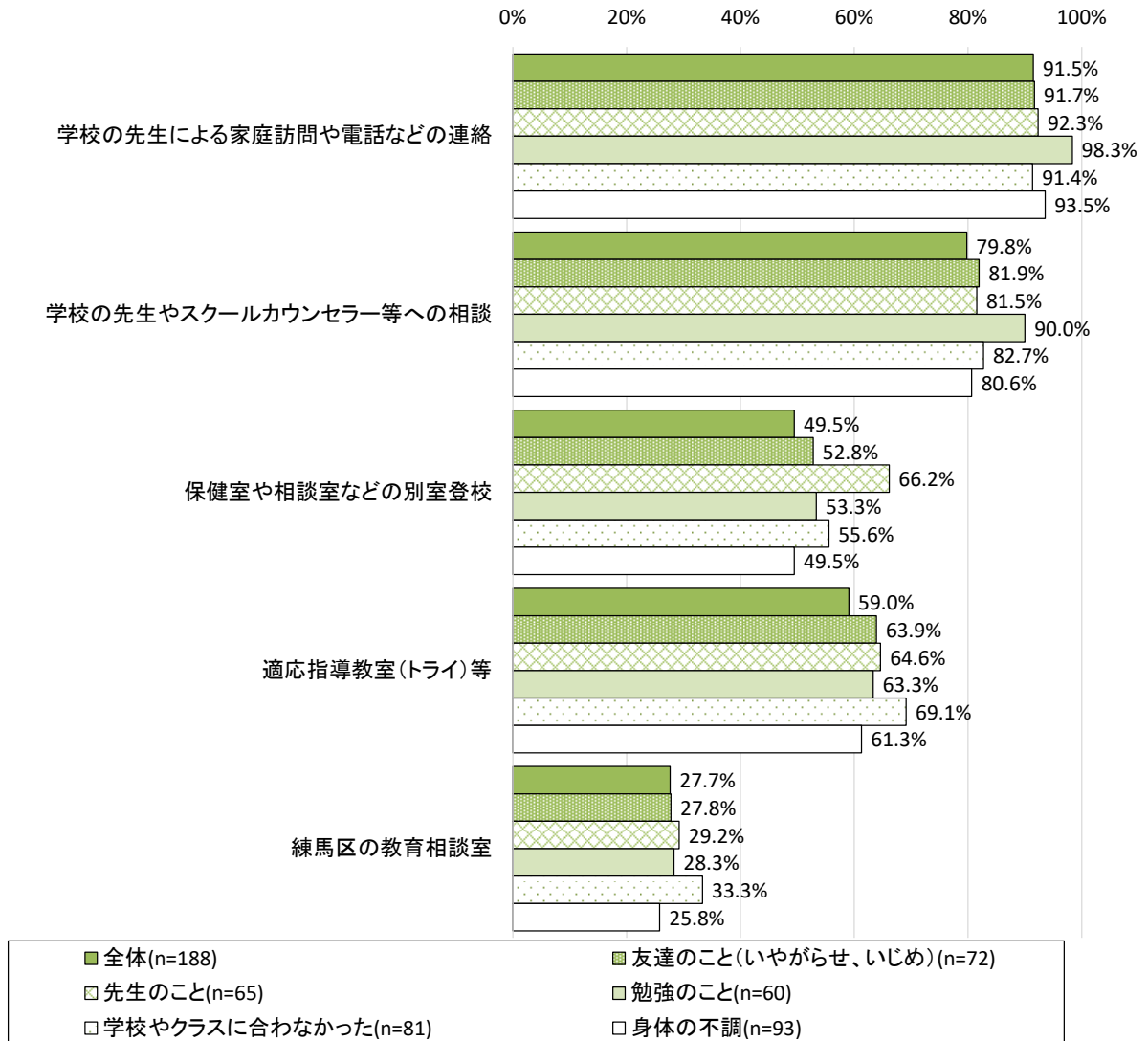
【一次本人・問 12】（複数回答）

あなたが学校を休み始めたときのきっかけは何ですか。

【一次本人・問 15】（単一回答）

あなたが中学校 3 年生のとき、次のようなことはありましたか。

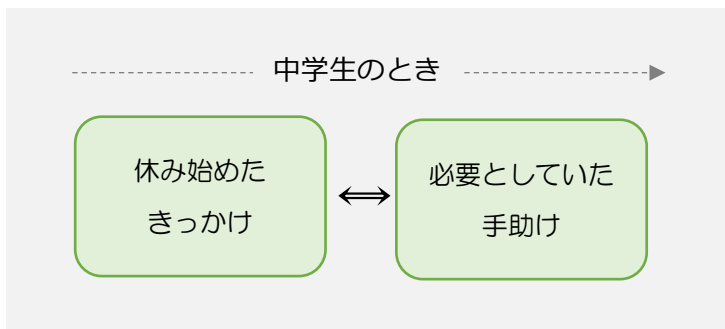
図表 3-2-1 2-2-2-1 学校を休み始めたときのきっかけ
× 2-3-1-1 中学校 3 年生のときに実施・利用があったもの



3-2-2 学校を休み始めたきっかけとほしかった手助け

学校を休み始めたきっかけと当時ほしかった手助けとの関係について、「友達のこと（いやがらせ、いじめ）」がきっかけの方では、「人間関係について」、「自分の気持ちをはっきりと表現したり、人とうまくつきあったりするための方法について」、「心の悩みを相談する場所について」相談できたり手助けがあればいいと回答した割合が比較的高い（図表 3-2-2）。なお、「人間関係について」、「心の悩みを相談する場所について」は、「学校やクラスに合わなかった」がきっかけの方も比較的回答割合が高い。

また、「勉強のこと」がきっかけの方では、「仕事につくことについて」、「友人と知り合えたり、仲間と過ごせたりする居場所について」相談できたり手助けがあればいいと回答した割合が比較的高い。



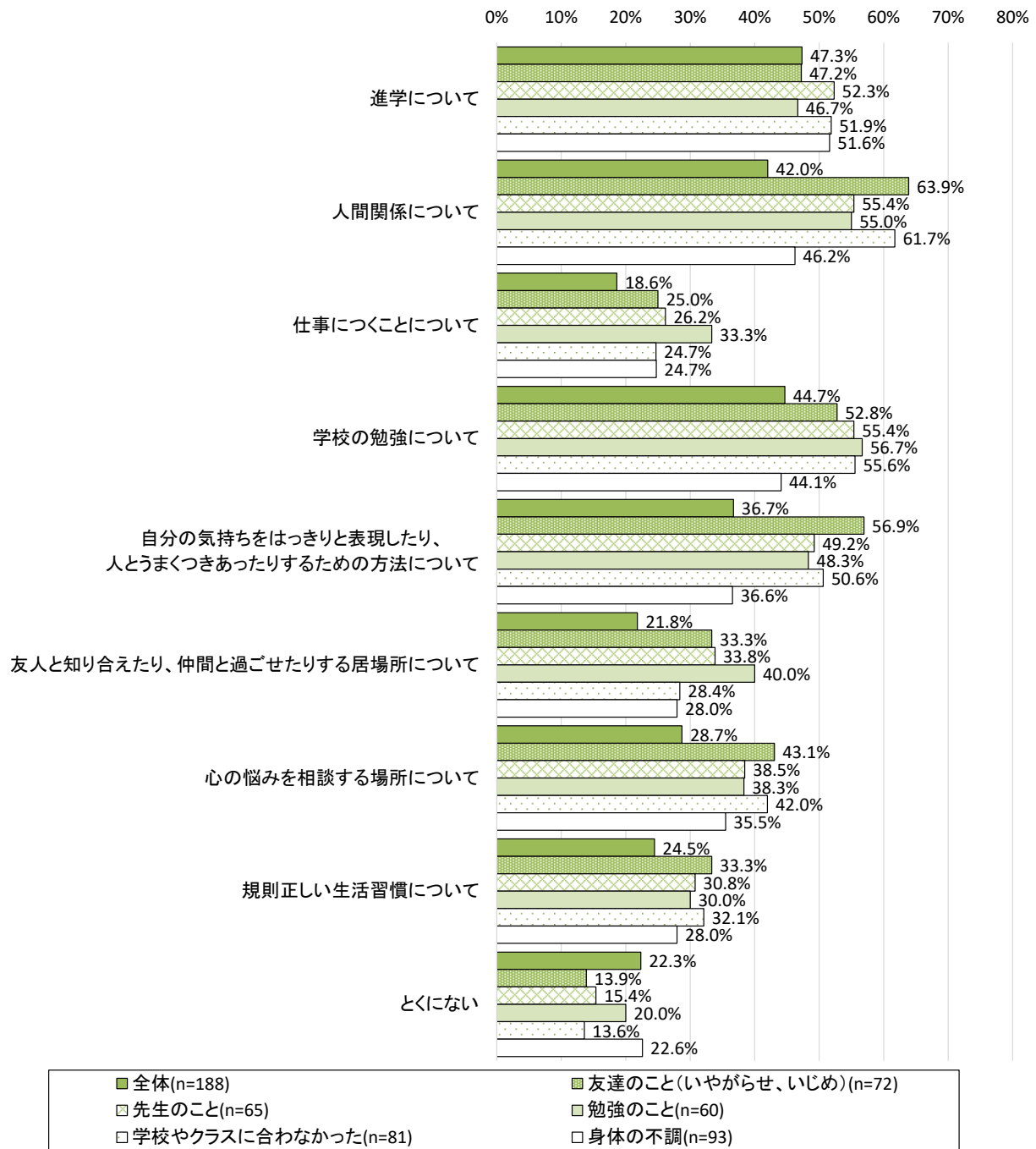
【一次本人・問 12】（複数回答）

あなたが学校を休み始めたときのきっかけは何ですか。

【一次本人・問 16】（複数回答）

あなたが中学校 3 年生のとき、次のようなことについて誰かに相談したいと思ったり、手助けがあればいいのと思ったことがありますか。

図表 3-2-2 2-2-2-1 学校を休み始めたときのきっかけ
 × 2-2-4-1 中学校 3 年生のときに誰かに相談したいと思ったり、手助けがあればいいのと思ったこと³⁴

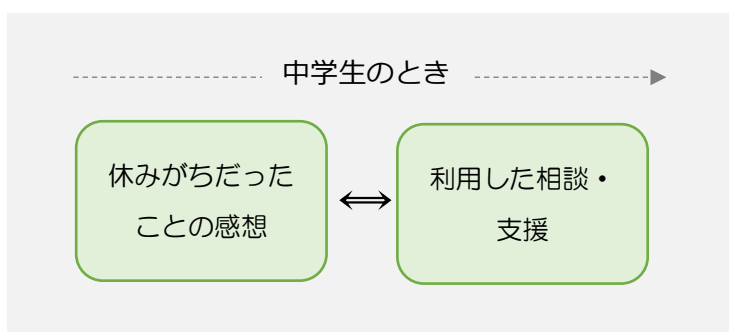


³⁴ 「その他」と「無回答」について、回答割合が低かったため、グラフへの掲載を省略した。（同設問について以下同様）

3-2-3 学校を休みがちだったことの感想と利用した相談・支援

利用した相談・支援³⁵と学校を休みがちだったことの感想³⁶との関係について、中学校3年生のときに学校を休みがちだったことを、今考えると「学校に行けばよかった」と捉えている割合は、学校内の支援のみを利用した場合で高い（図表 3-2-3）。

一方で、「学校に行かなくてよかった」と捉えている割合は、学校内と学校外の両方の支援を利用していた場合で高い。



³⁵ 「学校の先生による家庭訪問」、「保健室や相談室などの別室登校」、「スクールカウンセラー・心のふれあい相談員への相談」のうち、いずれか1つでも「あった」と回答した場合、「学校内の支援」を利用した方とみなした。（「学校の先生からの電話などの連絡」は全体の9割、「学校の先生・保健室の先生との相談」は全体の7割の方が「あった」と回答した。この2項目は練馬区立中学校でおおむね実施されているものであり、支援の有無等による差異を見ることは難しいと考えられたため、「学校内の支援」の条件から除いている。）

また、「スクールソーシャルワーカーへの相談」、「適応指導教室（トライ）」、「居場所ぱれっと」、「光が丘第一分室つむぎ」、「練馬区の教育相談室」、「その他の公的な相談機関等（児童相談所、福祉事務所など）」、「民間施設（「フリースクール」と呼ばれる場所など）」のうち、いずれか1つでも「あった」と回答した場合、「学校外の支援」を利用した方とみなした。

³⁶ 中学校3年生のときに「学校外の支援のみを利用」した方は17件、上記定義に含まれる支援を利用しなかった方は11件とデータの件数が少なかったため、グラフへの掲載を省略した。以下のグラフでも同様である。また、「無効回答」や「無回答」については、割合が低かったため、グラフへの掲載を省略した。

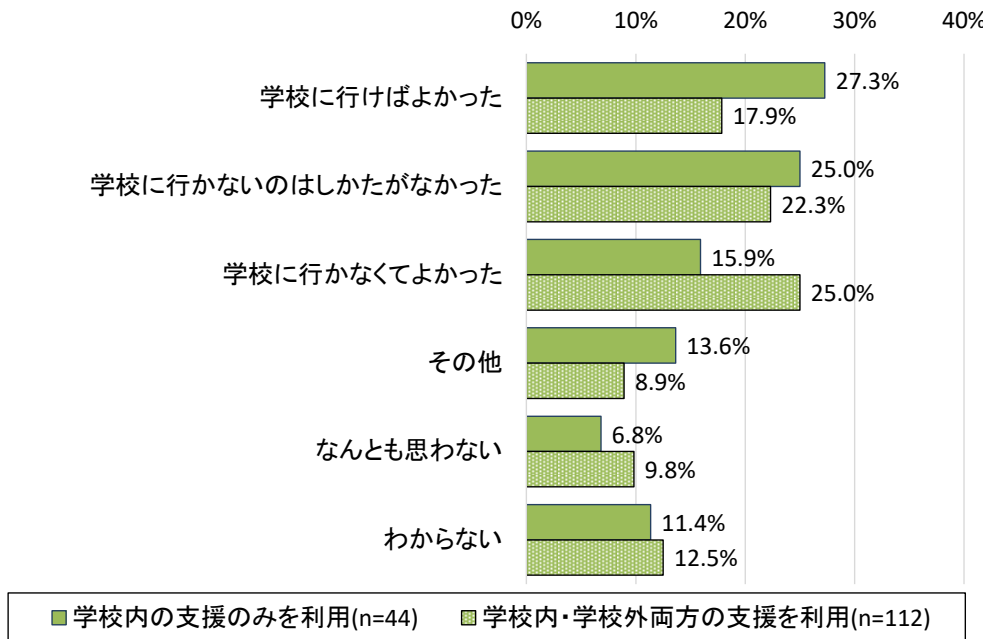
【一次本人・問 15】(単一回答)

あなたが中学校3年生のとき、次のようなことはありましたか。

【一次本人・問 17】(単一回答)

いま考えると、中学校3年生のとき、学校を休みがちだったことをどう思いますか。

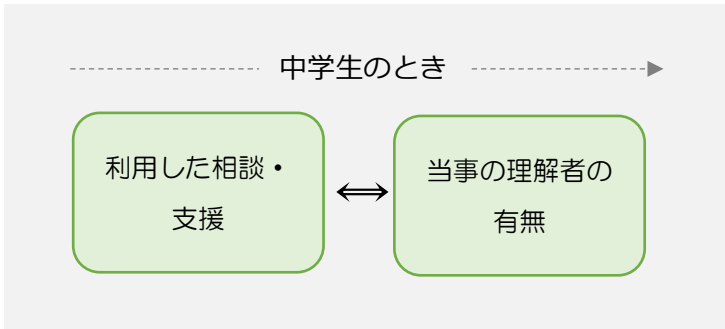
図表 3-2-3 2-3-1-2 学校内の支援・学校外の支援の利用状況
× 2-2-3-2 中学校3年生のときに学校を休みがちだったことをどう思うか



3-2-4 利用した相談・支援と理解者の有無

相談・支援の利用の状況³⁷と理解者の有無との関係については、各支援を利用していた場合に、理解者がいたと回答する割合が高い（図表 3-2-4-1、図表 3-2-4-2、図表 3-2-4-3）。

特に学校外の支援の利用³⁸には、理解者がいたと回答する割合が高い（図表 3-2-4-4）。



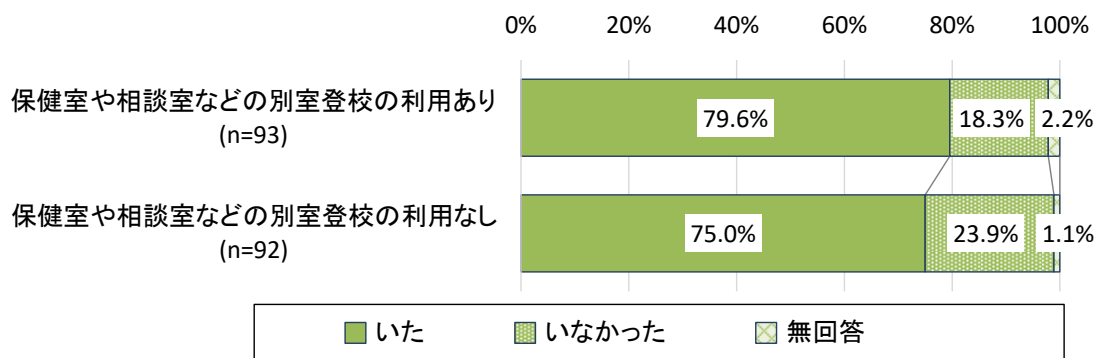
【一次本人・問 15】（単一回答）

あなたが中学校 3 年生のとき、次のようなことはありましたか。

【一次本人・問 13】（単一回答）

あなたが中学校 3 年生のときに、あなたのことをよく理解してくれている人はいましたか。

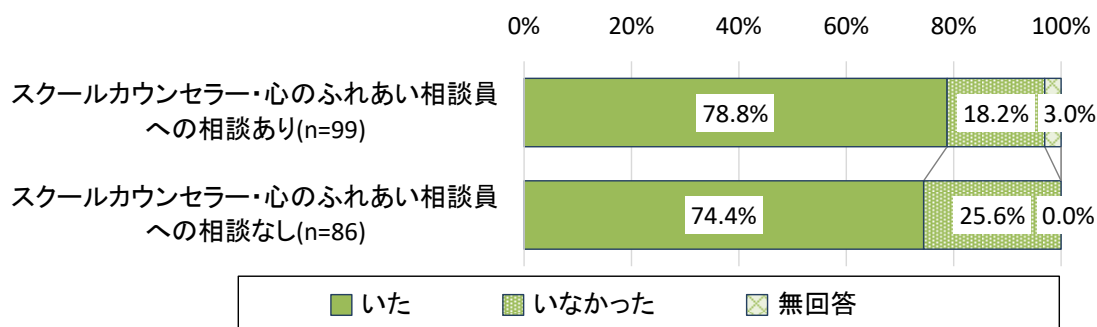
図表 3-2-4-1 2-3-1-1 保健室や相談室などの別室登校の利用の有無
× 2-4-3-1 中学校3年生のときの理解者の有無



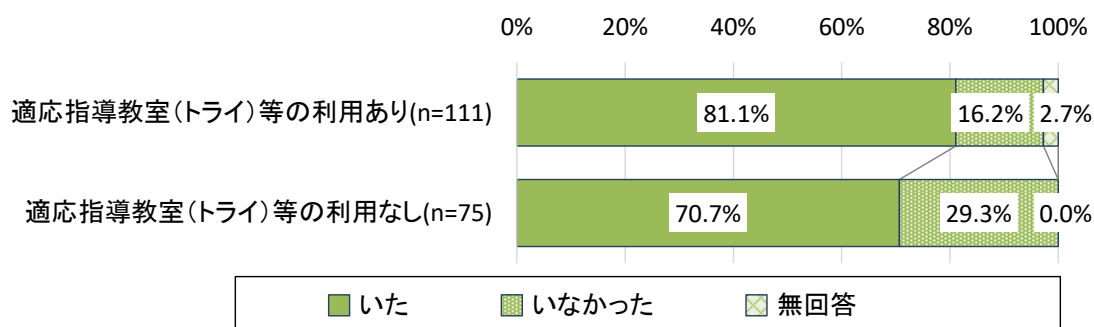
³⁷ ここでは、相談・利用したことがある方が比較的多い、「保健室や相談室などの別室登校」、「スクールカウンセラー・心のふれあい相談員への相談」、「適応指導教室（トライ）等」の3点について集計・分析を行った。

³⁸ 「学校の先生による家庭訪問」、「保健室や相談室などの別室登校」、「スクールカウンセラー・心のふれあい相談員への相談」のうち、いずれか1つでも「あった」と回答した場合、「学校内の支援」を利用した方とした。また、「スクールソーシャルワーカーへの相談」、「適応指導教室（トライ）」、「居場所ぱれっと」、「光が丘第一分室つむぎ」、「練馬区の教育相談室」、「その他の公的な相談機関等（児童相談所、福祉事務所など）」、「民間施設（「フリースクール」と呼ばれる場所など）」のうち、いずれか1つでも「あった」と回答した場合、「学校外の支援」を利用した方とした。

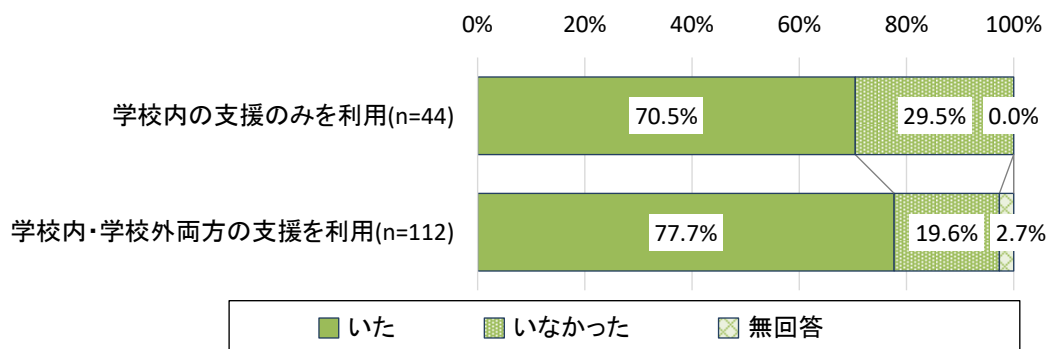
図表 3-2-4-2 2-3-1-1 スクールカウンセラー・心のふれあい相談員への相談の有無
 × 2-4-3-1 中学校3年生のときの理解者の有無



図表 3-2-4-3 2-3-1-1 適応指導教室(トライ)等の利用の有無
 × 2-4-3-1 中学校3年生のときの理解者の有無



図表 3-2-4-4 2-3-1-2 学校内の支援・学校外の支援の利用状況
 × 2-4-3-1 中学校3年生のときの理解者の有無

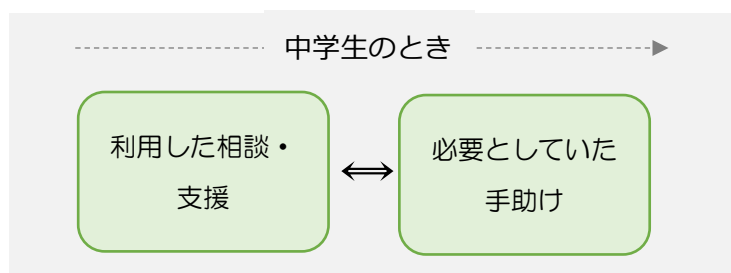


3-2-5 利用した相談・支援の評価とほしかった手助け

「保健室や相談室などの別室登校」を利用して「よかった」と回答した方³⁹では、「人間関係について」や「自分の気持ちをはっきりと表現したり、人とうまくつきあったりするための方法について」、中学校3年生のときに相談したり手助けが欲しかったと回答した割合が比較的高くなっている。一方で「よくなかった」と回答した方では、「進学について」や「学校の勉強について」、中学校3年生のときに相談したり手助けが欲しかったと回答した割合が高くなっている（図表 3-2-5-1）。

「スクールカウンセラー・心のふれあい相談員」へ相談して「よかった」と回答した方⁴⁰では、「人間関係について」、「学校の勉強について」、「自分の気持ちをはっきりと表現したり、人とうまくつきあったりするための方法について」、相談したり手助けが欲しかったと回答した割合が比較的高くなっている（図表 3-2-5-2）。

「適応指導教室（トライ）」を利用して「よかった」と回答した方⁴¹では、「進学について」や「自分の気持ちをはっきりと表現したり、人とうまくつきあったりするための方法について」、相談したり手助けが欲しかったと回答した割合が比較的高くなっている（図表 3-2-5-3）。



³⁹ 保健室や相談室などの別室登校が「あった」場合の評価として、「よかった」または「どちらかといえばよかった」と回答した方を、「保健室や相談室などの別室登校を利用してよかった」方、「どちらかといえばよくなかった」または「よくなかった」と回答した方を、「保健室や相談室などの別室登校を利用したがよくなかった」方として集計を行っている。「保健室や相談室などの別室登校を利用したがよくなかった」方は、28件とデータの件数が少ないことに留意が必要である。

⁴⁰ スクールカウンセラー・心のふれあい相談員への相談が「あった」場合の評価として、「よかった」または「どちらかといえばよかった」と回答した方を、「スクールカウンセラー・心のふれあい相談員へ相談してよかった」方、「どちらかといえばよくなかった」または「よくなかった」と回答した方を、「スクールカウンセラー・心のふれあい相談員へ相談したがよくなかった」方として集計を行っている。「スクールカウンセラー・心のふれあい相談員へ相談したがよくなかった」方は22件とデータの件数が少ないことに留意が必要である。

⁴¹ 適応指導教室（トライ）の利用が「あった」場合の評価として、「よかった」または「どちらかといえばよかった」と回答した方を、「適応指導教室（トライ）を利用してよかった」方、「どちらかといえばよくなかった」または「よくなかった」と回答した方を、「適応指導教室（トライ）を利用したがよくなかった」方として集計を行っている。「適応指導教室（トライ）を利用したがよくなかった」方は11件とデータの件数が少ないことに留意が必要である。

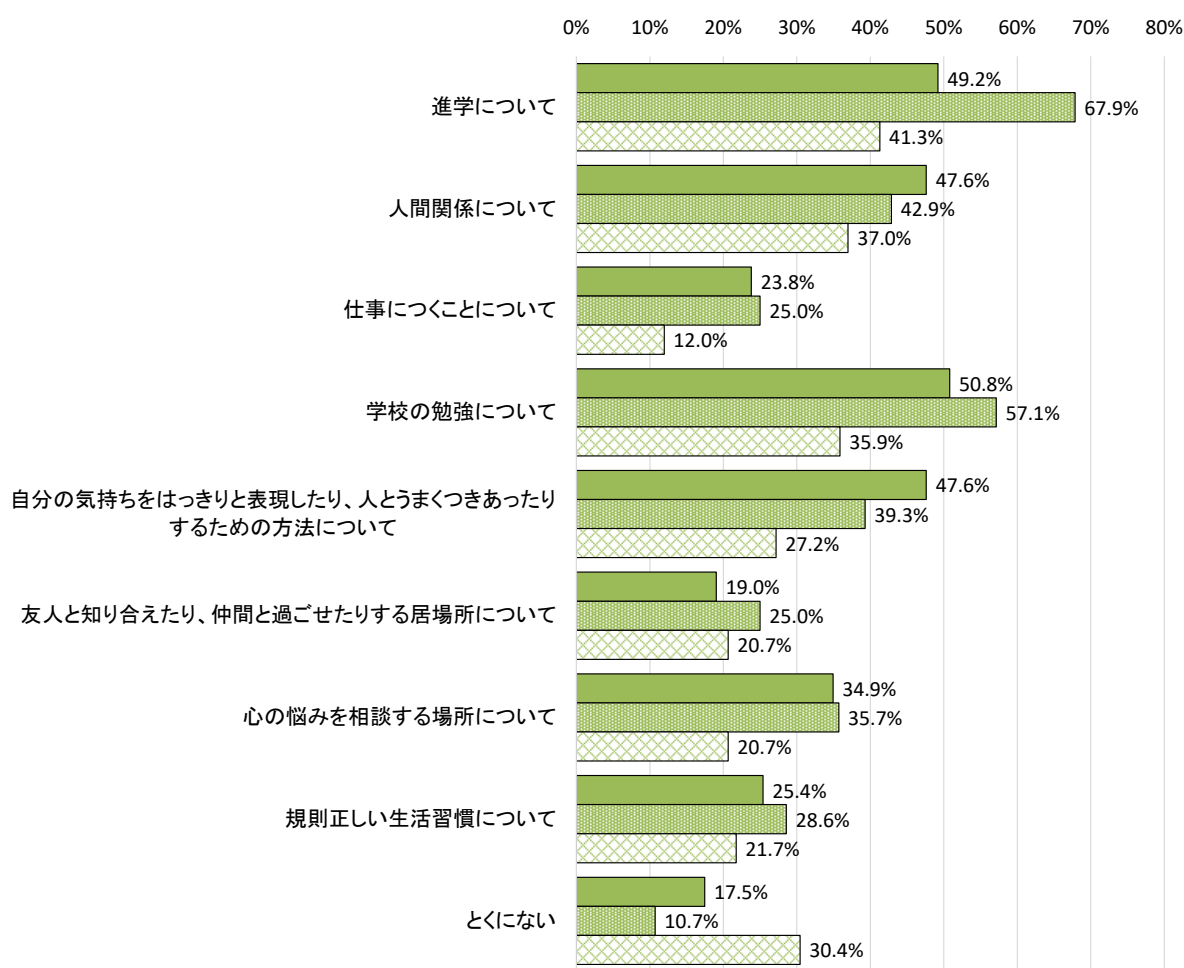
【一次本人・問 15】（単一回答）

あなたが中学校 3 年生のとき、次のようなことはありましたか。また、「あった」場合、そのことについてよかったですと思いますか。

【一次本人・問 16】（複数回答）

あなたが中学校 3 年生のとき、次のようなことについて誰かに相談したいと思ったり、手助けがあればいいのと思ったことがありますか。

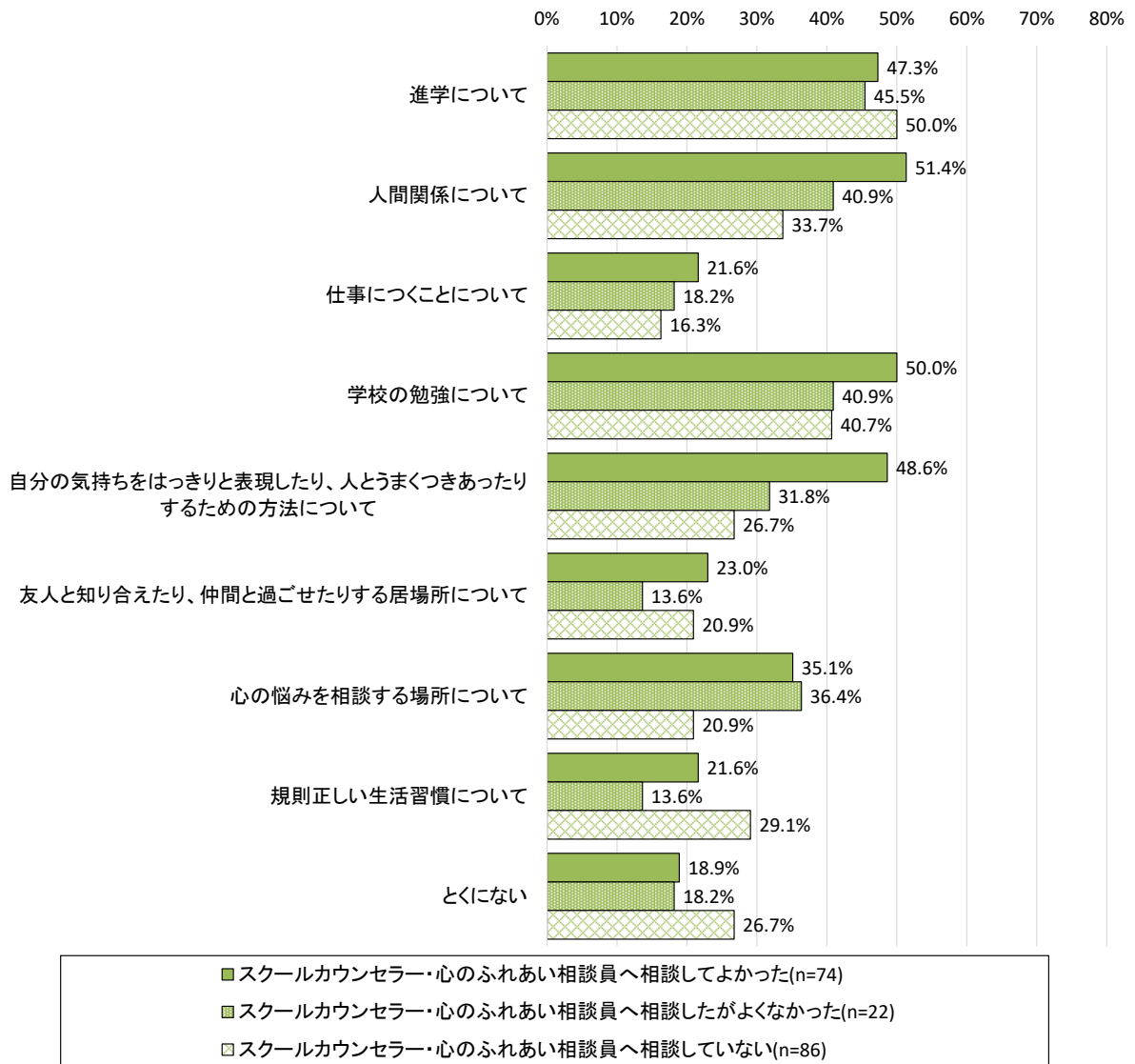
図表 3-2-5-1 2-3-1-1 保健室や相談室などの別室登校の利用の有無およびその評価
 × 2-2-4-1 中学校 3 年生のときに誰かに相談したいと思ったり、手助けがあればいいのと思ったこと



■ 保健室や相談室などの別室登校を利用してよかった(n=63)
 ■ 保健室や相談室などの別室登校を利用したがよくなかった(n=28)
 □ 保健室や相談室などの別室登校を利用していない(n=92)

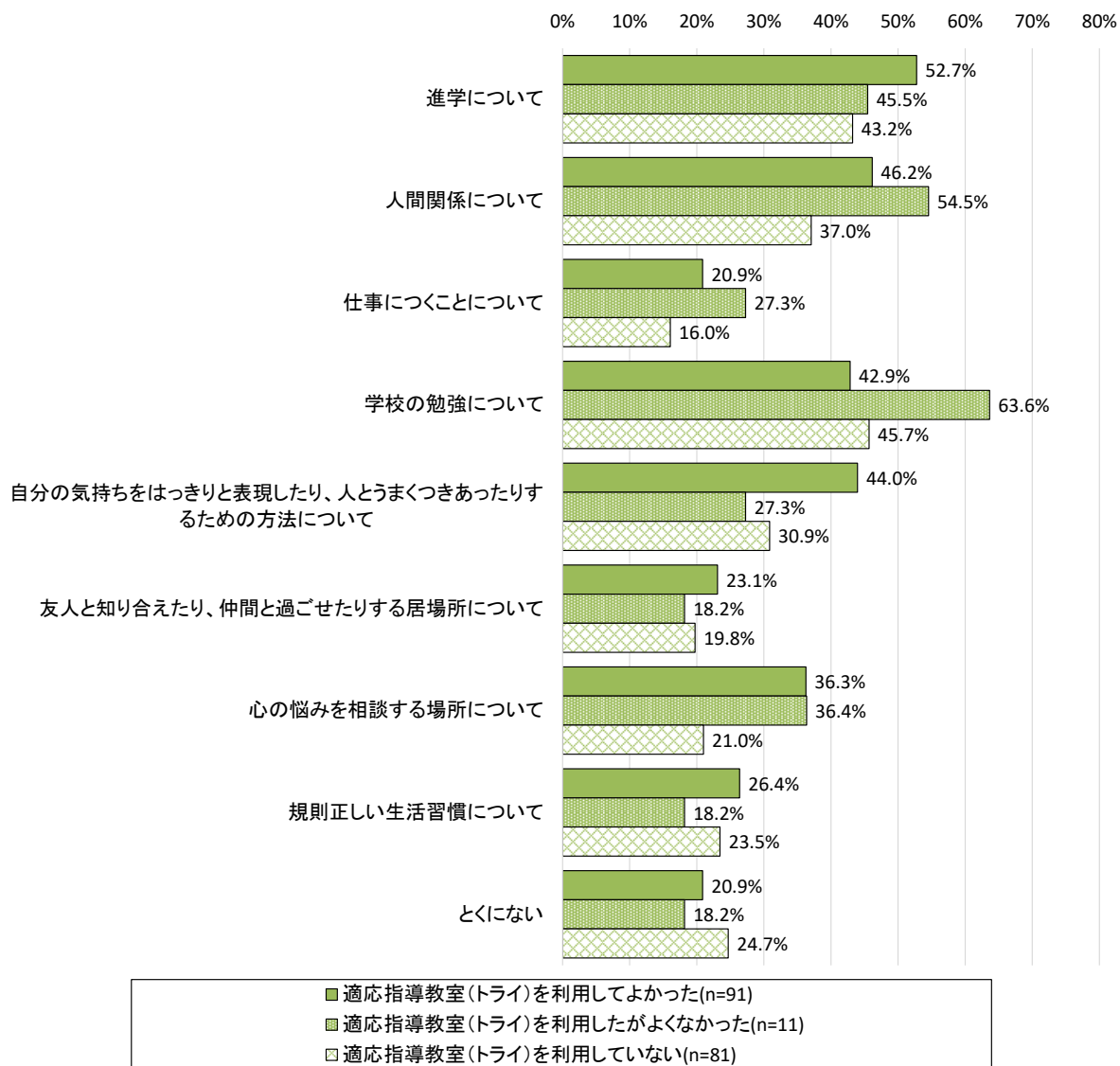
図表 3-2-5-2 2-3-1-1 スクールカウンセラー・心のふれあい相談員への相談の有無およびその評価

× 2-2-4-1 中学校3年生のときに誰かに相談したいと思ったり、手助けがあればいいのと思ったこと



図表 3-2-5-3 2-3-1-1 適応指導教室(トライ)の利用の有無およびその評価

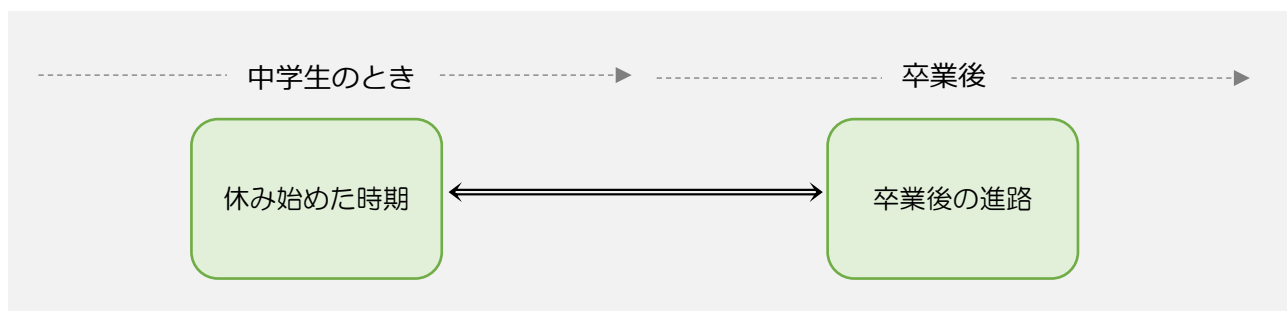
× 2-2-4-1 中学校3年生のときに誰かに相談したいと思ったり、手助けがあればいいのと思ったこと



3-3 不登校当時の状況と卒業後の進路

3-3-1 学校を休み始めた時期と中学校卒業後の進路

学校を休み始めた時期と中学校卒業後の進路の関係について、「小学生のころ」から学校を休み始めた方⁴²は、「中学生のころ」から学校を休み始めた方⁴³と比べて、全日制の高等学校に進学した割合が低い。一方で、定時制の高等学校と通信制の高等学校に進学した割合は高い（図表 3-3-1）。



⁴² 学校をよく休み始めた時期について、「小学校低学年（1・2年生）のころ」、「小学校中学年（3・4年生）のころ」、「小学校高学年（5・6年生）のころ」のいずれかを回答した方。

⁴³ 学校をよく休み始めた時期について、「中学校1年生のころ」、「中学校2年生のころ」、「中学校3年生のころ」のいずれかを回答した方。

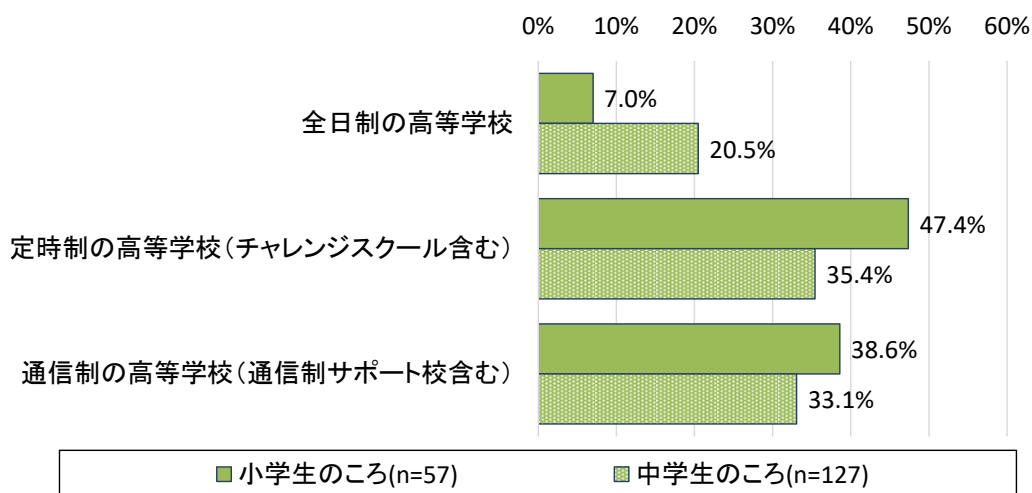
【一次本人・問 10】(単一回答)

あなたが学校をよく休み始めたのは、何年生のころですか。

【一次本人・問 4】(単一回答)

あなたは、中学校を卒業してすぐの時点で、どのような進路に進みましたか。

図表 3-3-1 2-2-1-1 学校を休み始めた時期
× 2-4-1-1 中学校卒業後の進路⁴⁴

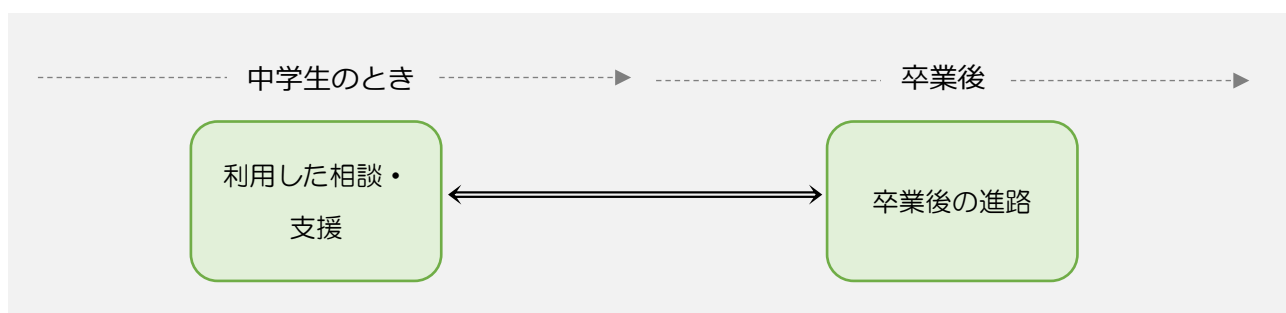


⁴⁴ 「特別支援学校高等部・高等特別支援学校」、「その他の学校」、「就職(パートやアルバイト)」、「就職(正社員)」、「家業や家の手伝い」、「その他」、「無回答」の回答については、回答割合が低かったためグラフの掲載を省略した。

3-3-2 利用した支援と中学校卒業後の進路

利用した支援と中学校卒業後の進路との関係について、学校内のみの支援を利用した方⁴⁵の方が、学校内・学校外の支援を利用した方に比べて全日制高等学校を進路として選択する割合が高い（図表 3-3-2-1）。一方、学校内・学校外の支援を利用したの方が学校内のみの支援を利用した方に比べて、定時制の高等学校（チャレンジスクール含む）を進路として選択する割合が高い。

学校外の支援で最も利用者の多い適応指導教室トライ等の利用者単体で見ても同様の傾向である（図表 3-3-2-2）。



⁴⁵ 「学校の先生による家庭訪問」、「保健室や相談室などの別室登校」、「スクールカウンセラー・心のふれあい相談員への相談」のうち、いずれか1つでも「あった」と回答した場合、「学校内の支援」を利用した方とした。また、「スクールソーシャルワーカーへの相談」、「適応指導教室（トライ）」、「居場所ぱれっと」、「光が丘第一分室つむぎ」、「練馬区の教育相談室」、「その他の公的な相談機関等（児童相談所、福祉事務所など）」、「民間施設（「フリースクール」と呼ばれる場所など）」のうち、いずれか1つでも「あった」と回答した場合、「学校外の支援」を利用した方とした。

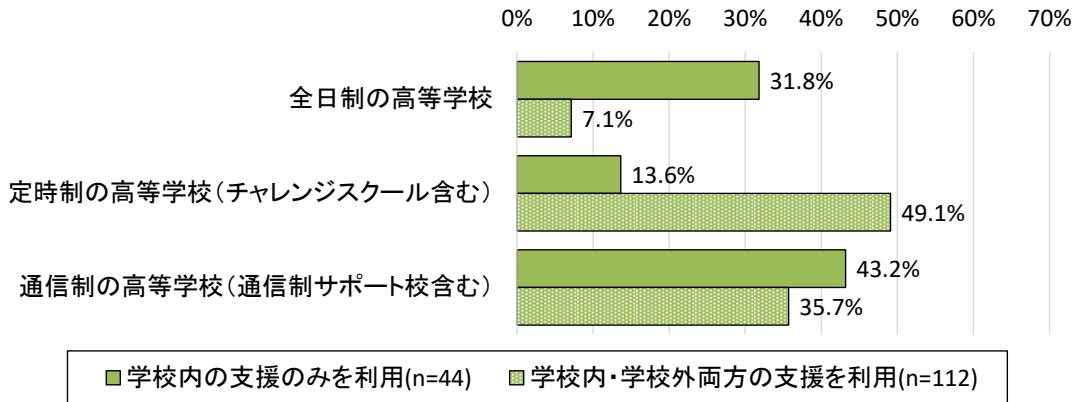
【一次本人・問 15】(単一回答)

あなたが中学校3年生のとき、次のようなことはありましたか。

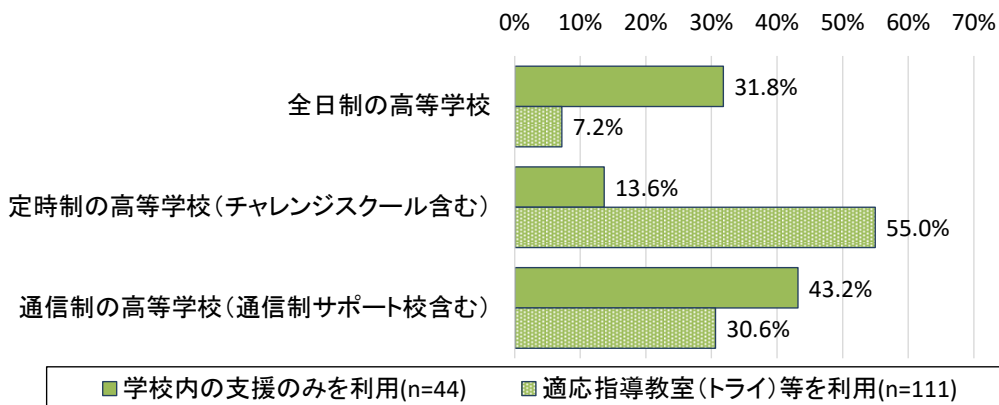
【一次本人・問 4】(単一回答)

あなたは、中学校を卒業してすぐの時点で、どのような進路に進みましたか。

図表 3-3-2-1 2-3-1-2 学校内の支援・学校外の支援の利用状況
× 2-4-1-1 中学校卒業後の進路⁴⁶



図表 3-3-2-2 2-3-1-1 中学校3年生のときの相談・支援の利用状況別(学校内の支援のみ利用/適応指導教室(トライ)等を利用)
× 2-4-1-1 中学校卒業後の進路



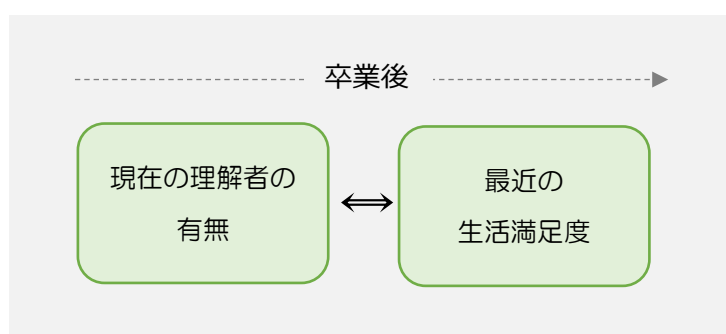
⁴⁶ 中学校卒業後の進路について、「特別支援学校高等部・高等特別支援学校」、「その他の学校」、「就職(パートやアルバイト)」、「就職(正社員)」、「家業や家の手伝い」、「その他」の回答は、データの件数が少なかったため、グラフへの掲載を省略した。

3-4 不登校当時の状況・卒業後の状況と生活満足

3-4-1 現在の理解者の有無と最近の生活満足度

現在の理解者の有無と最近の生活満足度との関係について、現在自分のことをよく理解してくれる人が「いる」と回答した方は、「いない」と回答した方⁴⁷よりも、最近の自身の生活全般についての満足度を高く評価する割合が高い（図表 3-4-1）。

自身の生活満足度が7以上と回答した方は、現在よく理解してくれる人がいる方では 57%、よく理解してくれる人がいない方では 17%となっている。平均値では、現在よく理解してくれる人がいる方では 6.6、よく理解してくれる人がいない方では 3.9 となっている⁴⁸。



⁴⁷ 現在よく理解してくれている方が「いない」と回答した方のデータが 23 件と少ない点に留意が必要である。

⁴⁸ なお、回答者全体では、生活満足度が7以上と回答した方は 50.0%、生活満足度の平均値は 6.2 となっている。

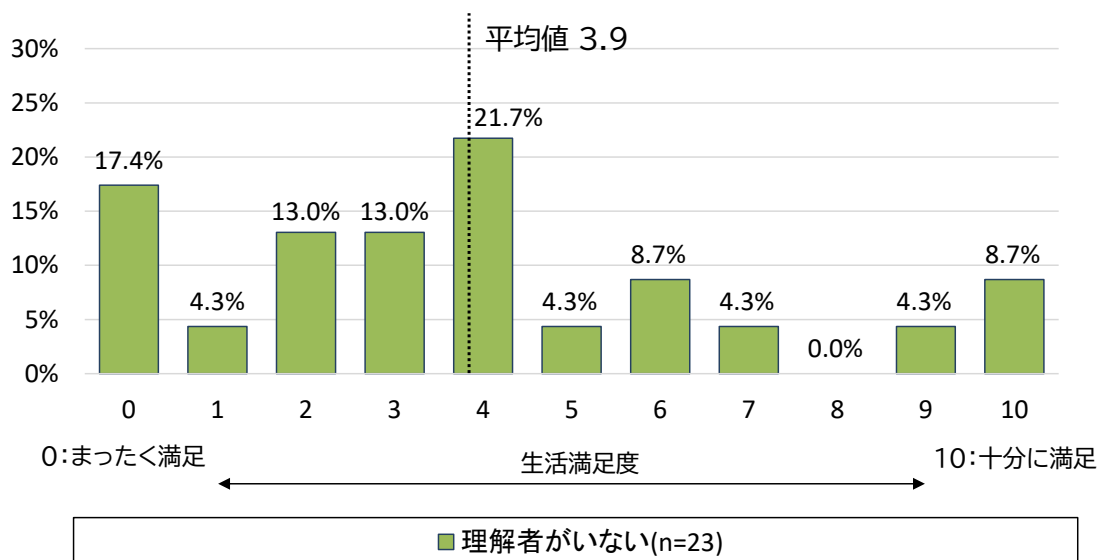
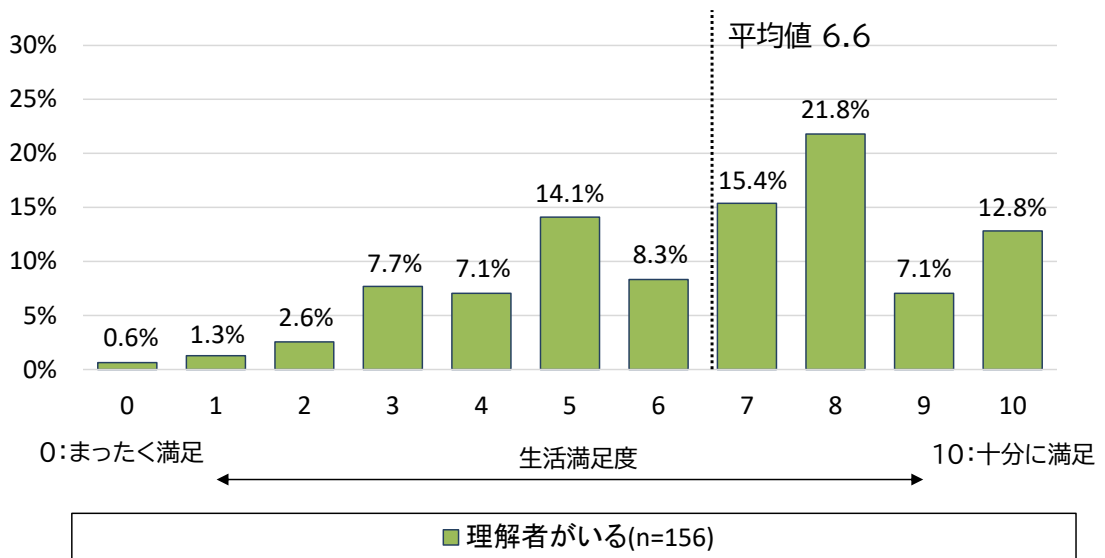
【一次本人・問 8】(単一回答)

現在、あなたのことをよく理解してくれている方はいますか。

【一次本人・問 9】(単一回答)

全体として、あなたはあなたの最近の生活全般に、どのくらい満足していますか。「0」(まったく満足していない)から「10」(十分に満足している)の数字で、あてはまるものを選んでください。

図表 3-4-1 2-4-3-3 現在の理解者の有無
× 2-4-4-1 最近の生活満足度⁴⁹



⁴⁹ 無回答の割合(「理解者がいる」では1.3%、「理解者がいない」では0.0%)をグラフから省略しているため、各回答割合を足し合わせても100%とならない。

3-4-2 相談・支援の利用有無と生活満足度

相談・支援の利用有無⁵⁰と生活満足度との関係について、生活満足度が7以上と回答した方の割合は、「保健室や相談室などの別室登校の利用」や、「スクールカウンセラー・心のふれあい相談員への相談」があった方は、なかった方と比べて低く（図表 3-4-2-1、図表 3-4-2-2）、「適応指導教室（トライ）等の利用」があった方では、なかった方と比べて高い（図表 3-4-2-3）⁵¹。

生活満足度の平均値は、「保健室や相談室などの別室登校の利用」があった方はなかった方と比べて低く、「適応指導教室（トライ）等の利用」があった方はなかった方と比べて高い（図表 3-4-2-1、図表 3-4-2-3）。また、生活満足度の平均値は、学校内と学校外の両方の支援を利用していた場合で高い（図表 3-4-2-4）。



⁵⁰ ここでは、相談・利用したことがある方が比較的多い、「保健室や相談室などの別室登校」、「スクールカウンセラー・心のふれあい相談員への相談」、「適応指導教室（トライ）等」の3点について集計・分析を行った。

⁵¹ 生活満足度が7以上と回答した方の割合は、「保健室や相談室などの別室登校の利用」があった方では46.3%、なかった方では55.4%、「スクールカウンセラー・心のふれあい相談員への相談」があった方では48.6%、なかった方では53.5%、「適応指導教室（トライ）等の利用」があった方では52.2%、なかった方では47.9%、「学校内の支援のみを利用」した方では47.7%、「学校内・学校外両方の支援を利用」した方では50.9%となっている。

【一次本人・問 15】(単一回答)

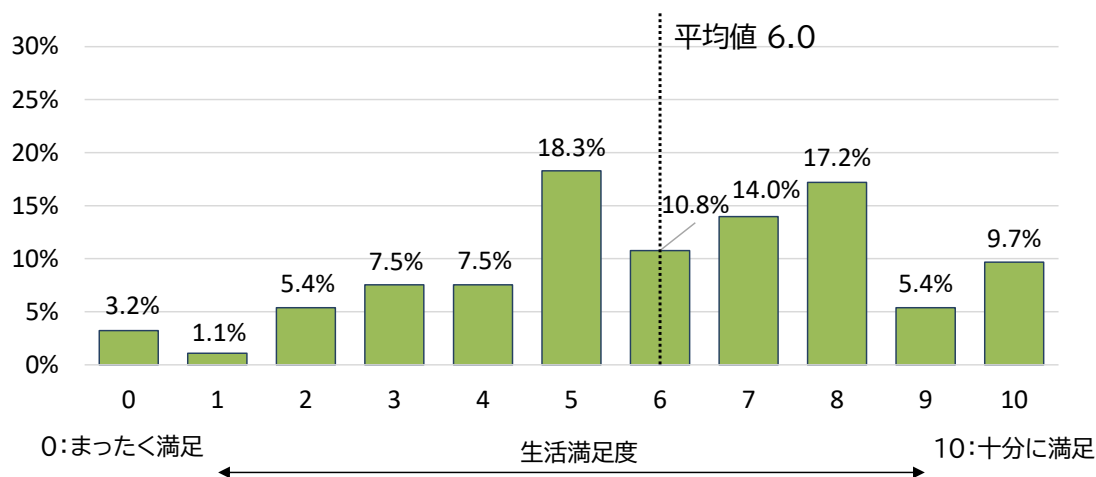
あなたが中学校3年生のとき、次のようなことはありましたか。

【一次本人・問 9】(単一回答)

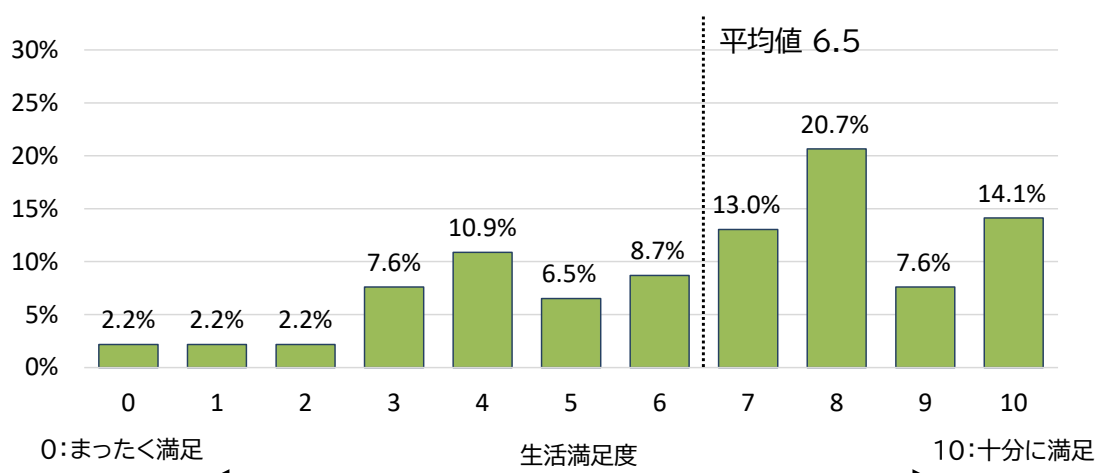
全体として、あなたはあなたの最近の生活全般に、どのくらい満足していますか。「0」(まったく満足していない)から「10」(十分に満足している)の数字で、あてはまるものを選んでください。

図表 3-4-2-1 2-3-1-1 保健室や相談室などの別室登校の利用の有無

× 2-4-4-1 最近の生活満足度⁵²



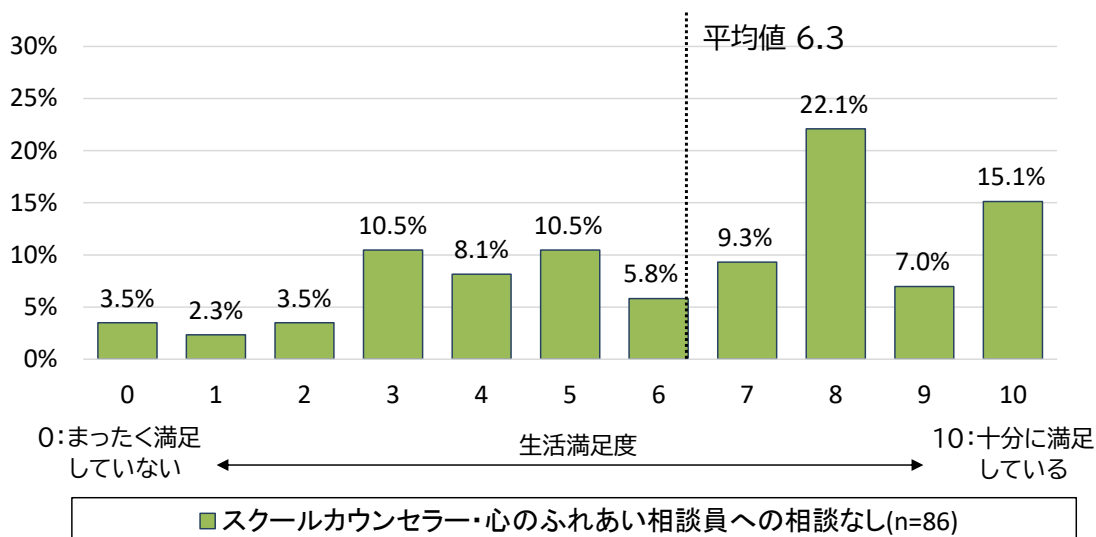
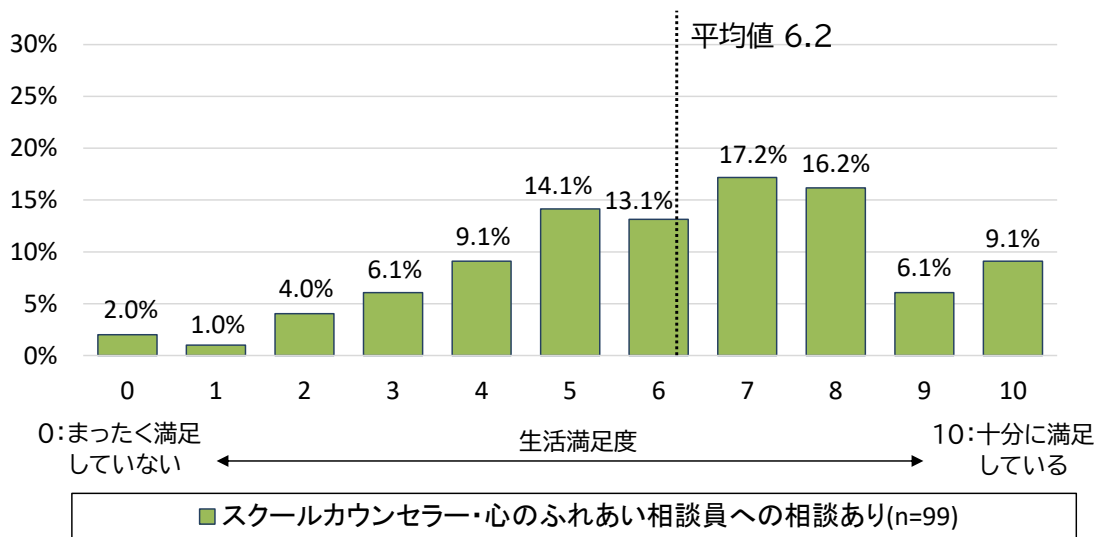
■ 保健室や相談室などの別室登校の利用あり(n=93)



■ 保健室や相談室などの別室登校の利用なし(n=92)

⁵² 無回答の割合(「保健室や相談室などの別室登校の利用あり」では0.0%、「保健室や相談室などの別室登校の利用なし」では4.3%)をグラフから省略しているため、各回答割合を足し合わせても100%とならない。

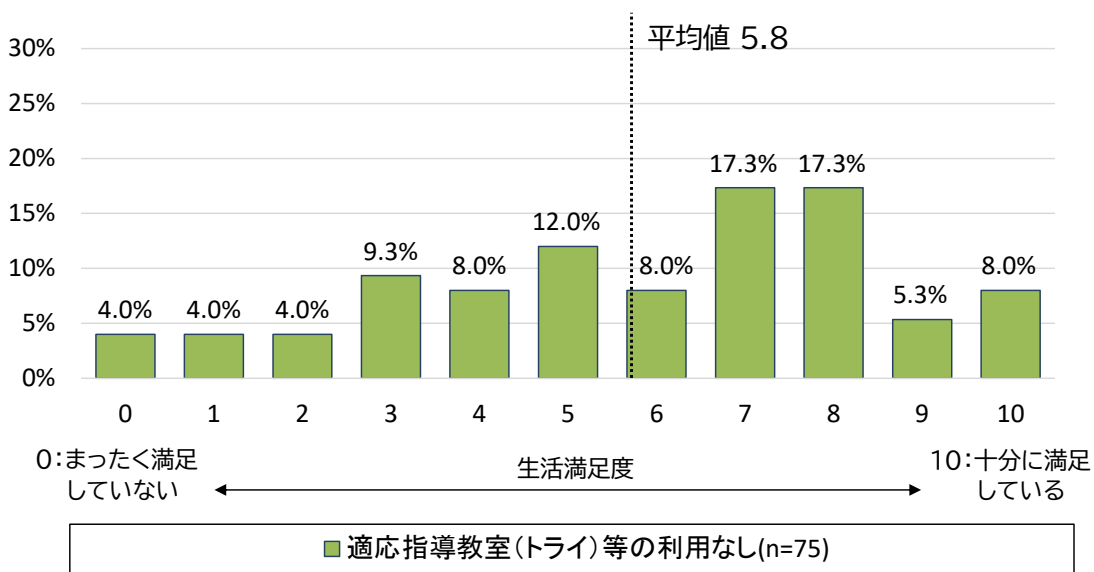
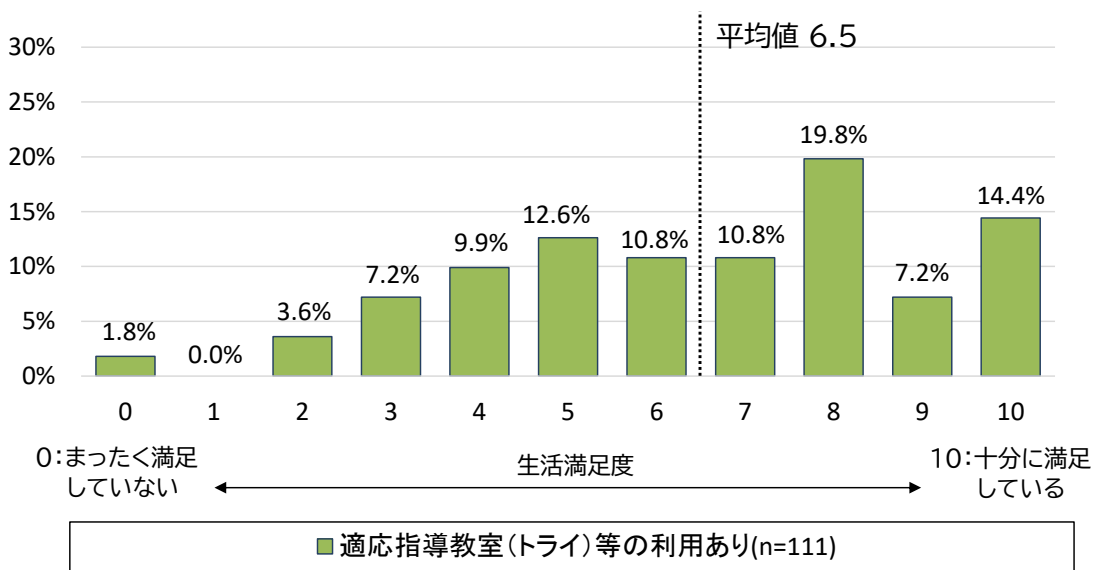
図表 3-4-2-2 2-3-1-1 スクールカウンセラー・心のふれあい相談員への相談の有無
 × 2-4-4-1 最近の生活満足度⁵³



⁵³ 無回答の割合（「スクールカウンセラー・心のふれあい相談員への相談あり」では 2.0%、「スクールカウンセラー・心のふれあい相談員への相談なし」では 2.3%）をグラフから省略しているため、各回答割合を足し合わせても 100% とならない。

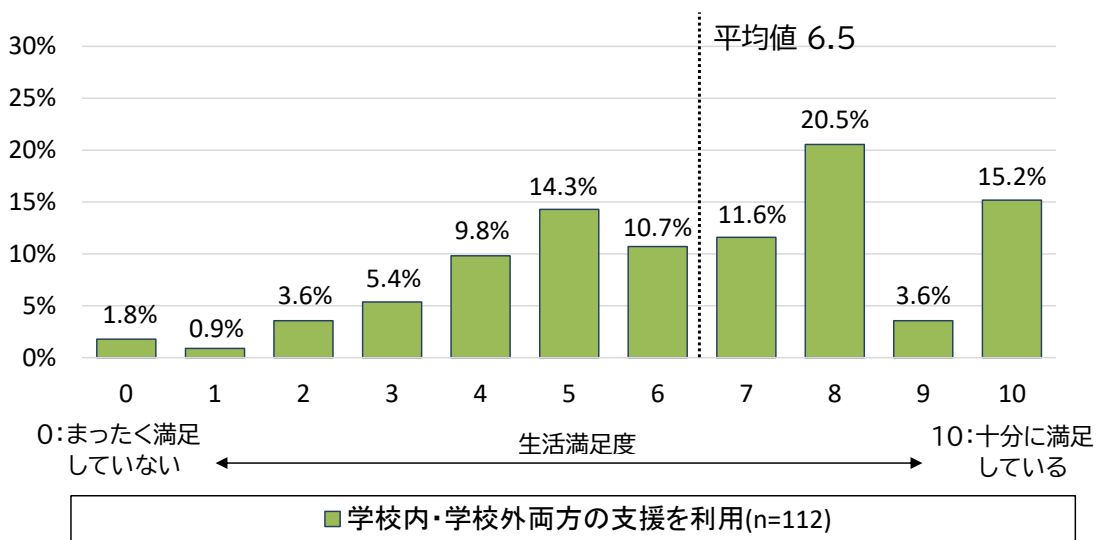
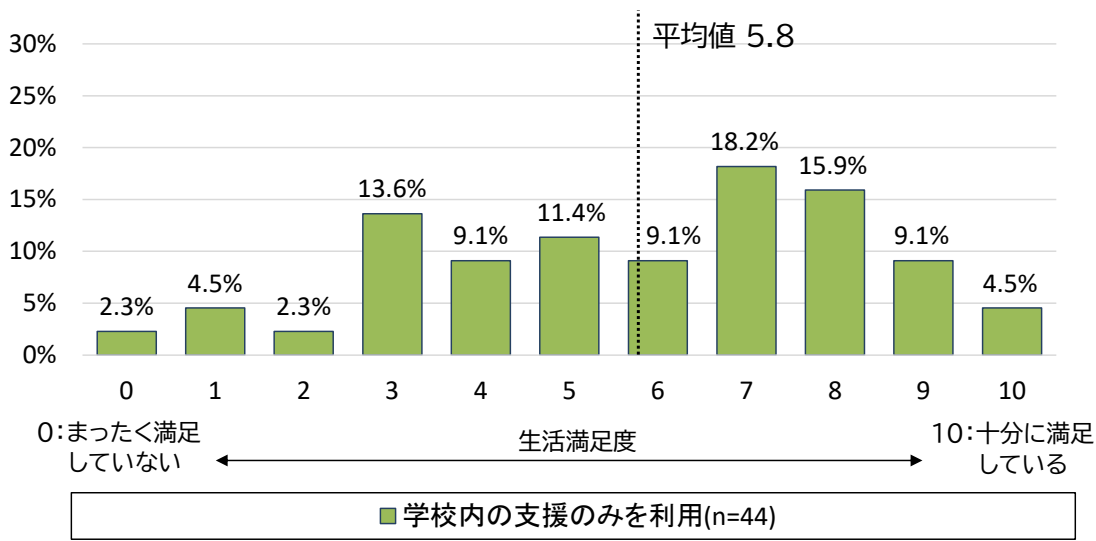
図表 3-4-2-3 2-3-1-1 適応指導教室(トライ)等の利用の有無

× 2-4-4-1 最近の生活満足度⁵⁴



⁵⁴ 無回答の割合（「適応指導教室（トライ）等の利用あり」では 1.8%、「適応指導教室（トライ）等の利用なし」では 2.7%）をグラフから省略しているため、各回答割合を足し合わせても 100%とならない。

図表 3-4-2-4 2-3-1-2 学校内の支援・学校外の支援の利用状況
 × 2-4-4-1 最近の生活満足度⁵⁵

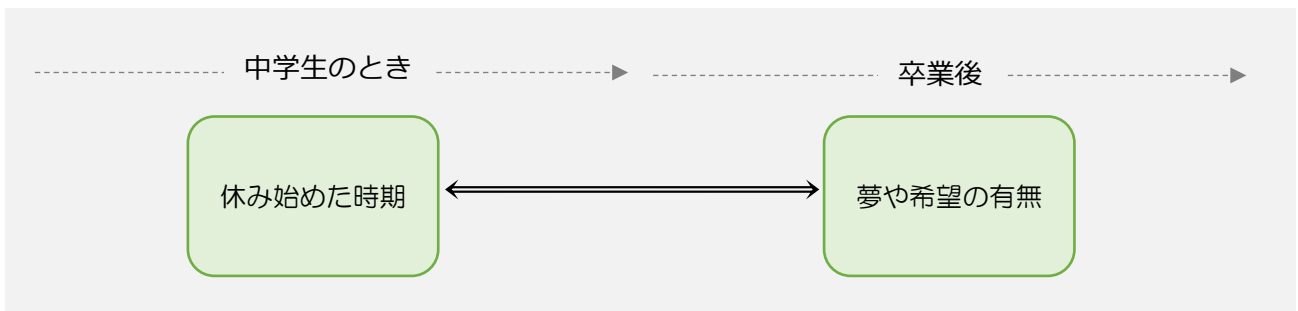


⁵⁵ 無回答の割合（「学校内の支援のみを利用」では 0.0%、「学校内・学校外両方の支援を利用」では 2.7%）をグラフから省略しているため、各回答割合を足し合わせても 100%とならない。

3-5 不登校当時の状況・卒業後の状況と将来の夢や目標

3-5-1 学校を休み始めた時期と将来の夢や希望の有無

学校を休み始めた時期と将来の夢や希望の有無との関係について、「小学生のころ」から学校を休み始めた方⁵⁶と、「中学生のころ」から学校を休み始めた方⁵⁷とで、自分の将来に夢や希望が「ある」または「ぼんやりとある」と回答した割合の合計に差はほとんどない。一方で「ある」だけに限れば、中学生のころから休み始めた方が、小学生のころから休み始めた方に比べて倍近く多い（図表 3-5-1）。



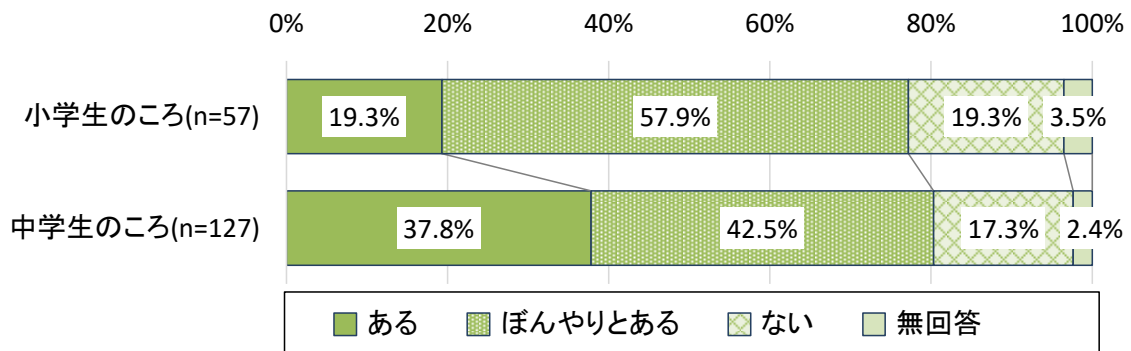
【一次本人・問 10】（単一回答）

あなたが学校をよく休み始めたのは、何年生のころですか。

【一次本人・問 18】（単一回答）

自分の将来について夢や希望がありますか。

図表 3-5-1 2-2-1-1 学校を休み始めた時期
× 2-5-1-1 将来の夢や希望の有無



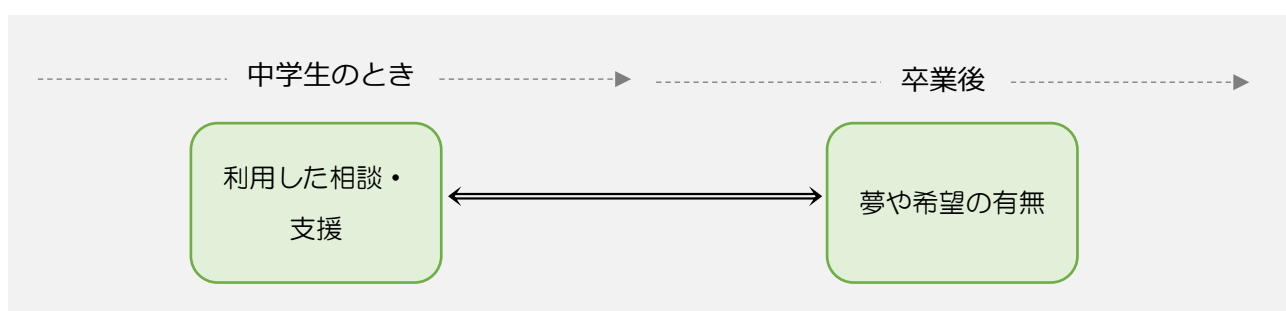
⁵⁶ 学校をよく休み始めた時期について、「小学校低学年（1・2年生）のころ」、「小学校中学年（3・4年生）のころ」、「小学校高学年（5・6年生）のころ」のいずれかを回答した方。

⁵⁷ 学校をよく休み始めた時期について、「中学校1年生のころ」、「中学校2年生のころ」、「中学校3年生のころ」のいずれかを回答した方。

3-5-2 相談・支援の利用有無と将来の夢や希望の有無

学校内・学校外両方の支援を利用した方⁵⁸は、学校内の支援のみを利用した方に比べて、自分の将来に夢や希望が「ない」と回答した割合が低い（図表 3-5-2-1）。

利用した支援内容を個別に見ると⁵⁹、「スクールカウンセラー・心のふれあい相談員への相談」（図表 3-5-2-3）、「スクールソーシャルワーカーへの相談」（図表 3-5-2-4）、「適応指導教室（トライ）等の利用⁶⁰」（図表 3-5-2-5）、「練馬区の教育相談室の利用」（図表 3-5-2-6）があった方は、利用がなかった方に比べて、自分の将来に夢や希望が「ない」と回答した割合が低い。



⁵⁸ 「学校の先生による家庭訪問」、「保健室や相談室などの別室登校」、「スクールカウンセラー・心のふれあい相談員への相談」のうち、いずれか1つでも「あった」と回答した場合、「学校内の支援」を利用した方とした。また、「スクールソーシャルワーカーへの相談」、「適応指導教室（トライ）」、「居場所ぱれっと」、「光が丘第一分室つむぎ」、「練馬区の教育相談室」、「その他の公的な相談機関等（児童相談所、福祉事務所など）」、「民間施設（「フリースクール」と呼ばれる場所など）」のうち、いずれか1つでも「あった」と回答した場合、「学校外の支援」を利用した方とした。

⁵⁹ ここでは、「保健室や相談室などの別室登校」、「スクールカウンセラー・心のふれあい相談員への相談」、「スクールソーシャルワーカーへの相談」、「適応指導教室（トライ）等」、「練馬区の教育相談室」の5点に着目して集計・分析を行った。

⁶⁰ 「適応指導教室（トライ）」、「居場所ぱれっと」、「光が丘第一分室つむぎ」のいずれかの利用が「あった」と回答した方を、「適応指導教室（トライ）等」の利用が「あった」方として集計している。

【一次本人・問 15】(単一回答)

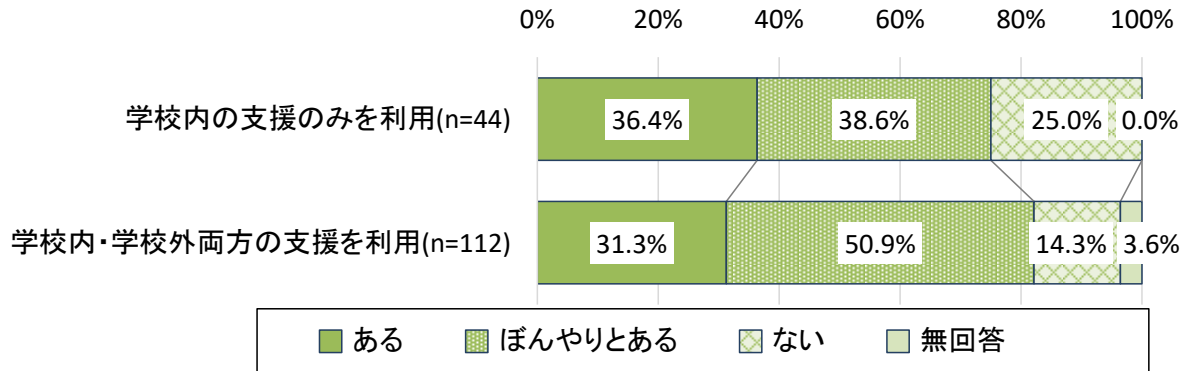
あなたが中学校3年生のとき、次のようなことはありましたか。

【一次本人・問 18】(単一回答)

自分の将来について夢や希望がありますか。

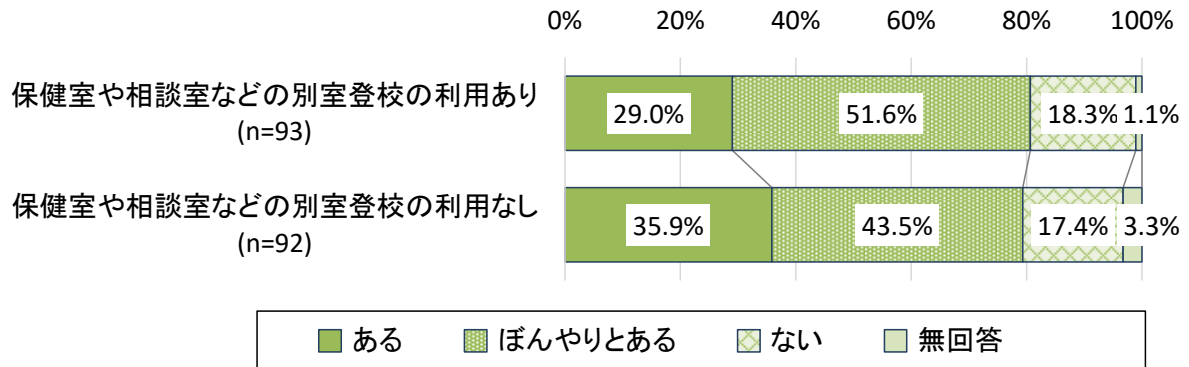
図表 3-5-2-1 2-3-1-2 学校内の支援・学校外の支援の利用状況

× 2-5-1-1 将来の夢や希望の有無



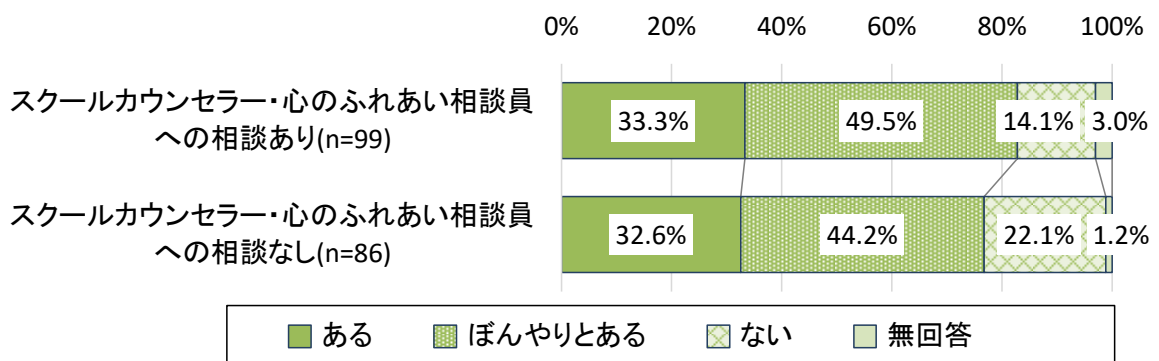
図表 3-5-2-2 2-3-1-1 保健室や相談室などの別室登校の利用の有無

× 2-5-1-1 将来の夢や希望の有無

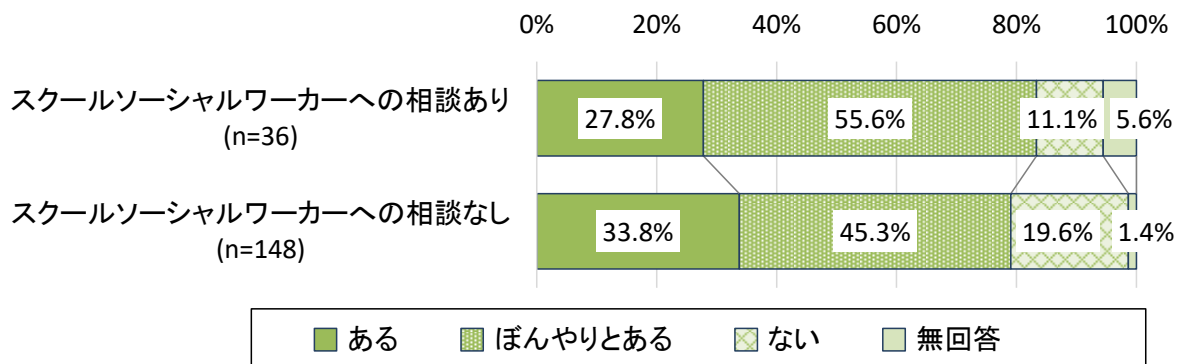


図表 3-5-2-3 2-3-1-1 スクールカウンセラー・心のふれあい相談員への相談の有無

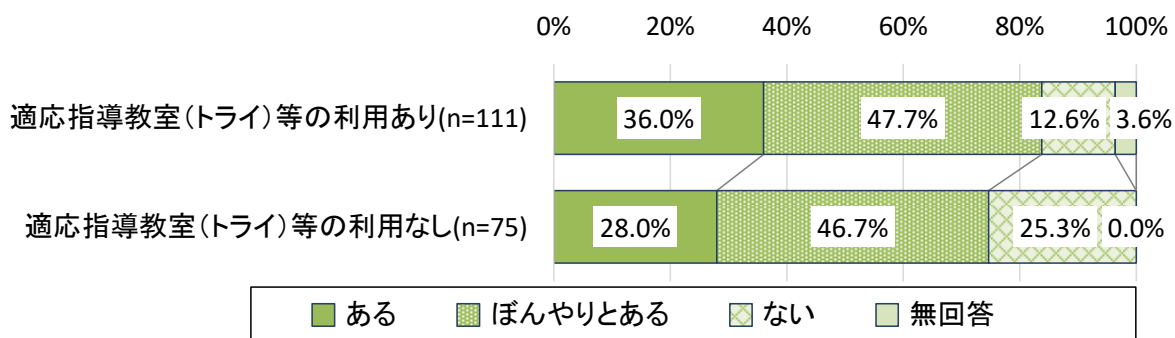
× 2-5-1-1 将来の夢や希望の有無



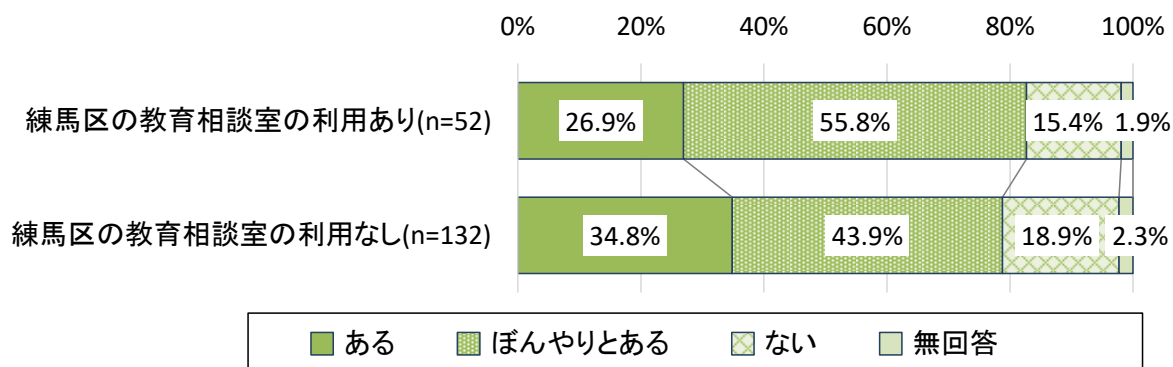
図表 3-5-2-4 2-3-1-1 スクールソーシャルワーカーへの相談の有無
 × 2-5-1-1 将来の夢や希望の有無



図表 3-5-2-5 2-3-1-1 適応指導教室(トライ)等の利用の有無
 × 2-5-1-1 将来の夢や希望の有無

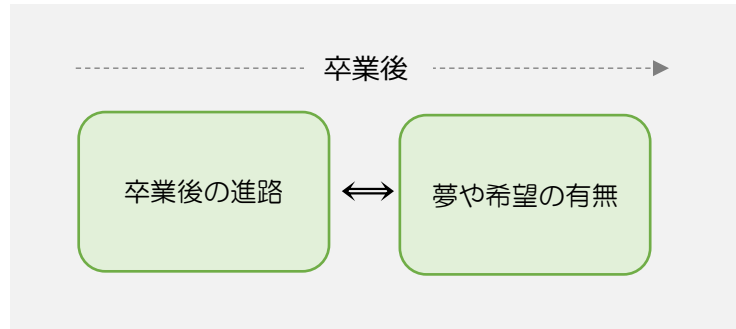


図表 3-5-2-6 2-3-1-1 練馬区の教育相談室の利用の有無
 × 2-5-1-1 将来の夢や希望の有無



3-5-3 中学卒業後の進路と将来の夢や希望の有無

中学卒業後の進路⁶¹と将来の夢や希望の有無との関係については、「全日制高校」、「定時制高校（チャレンジスクール含む）」、「通信制高校（通信制サポート校含む）」の順で、自分の将来について夢や希望が「ある」と回答した割合が高い（図表 3-5-3）。



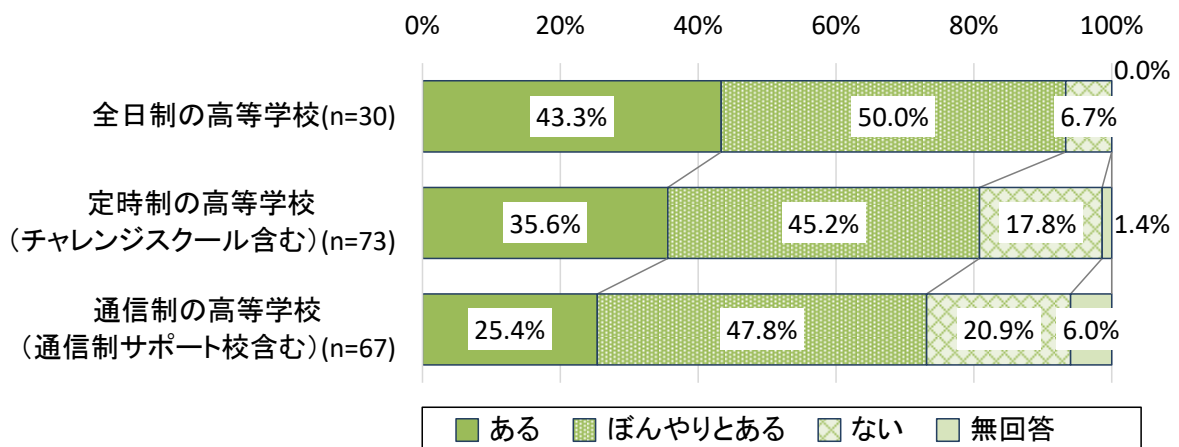
【一次本人・問 4】（単一回答）

あなたは、中学校を卒業してすぐの時点で、どのような進路に進みましたか。

【一次本人・問 18】（単一回答）

自分の将来について夢や希望がありますか。

図表 3-5-3 2-4-1-1 中学校卒業後の進路
× 2-5-1-1 将来の夢や希望の有無

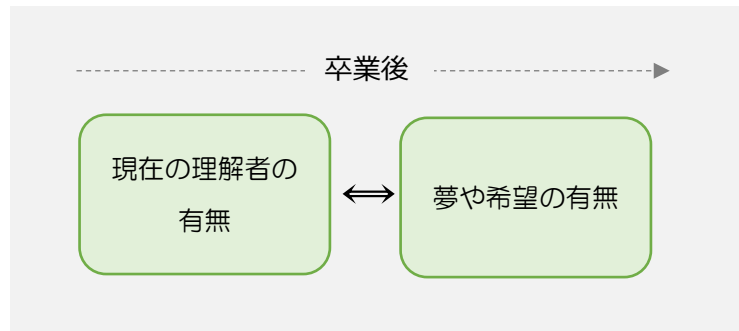


⁶¹ 中学校卒業後の進路について、「特別支援学校高等部・高等特別支援学校」、「その他の学校」、「就職（パートやアルバイト）」、「就職（正社員）」、「家業や家の手伝い」、「その他」の回答は、データの件数が少なかったため、グラフへの掲載を省略した。

3-5-4 現在の理解者の有無と将来の夢や希望の有無

現在の理解者の有無と将来の夢や希望の有無との関係について、現在自分のことをよく理解してくれる人が「いる」と回答した方が、「いない」と回答した方⁶²よりも、自分の将来について夢や希望が「ある」と回答した割合が高い（図表 3-5-4）。

反対に、現在自分のことをよく理解してくれる人が「いない」と回答した方は、「いる」と回答した方と比べて、自分の将来に夢や希望が「ない」と回答した割合が倍以上となっている。



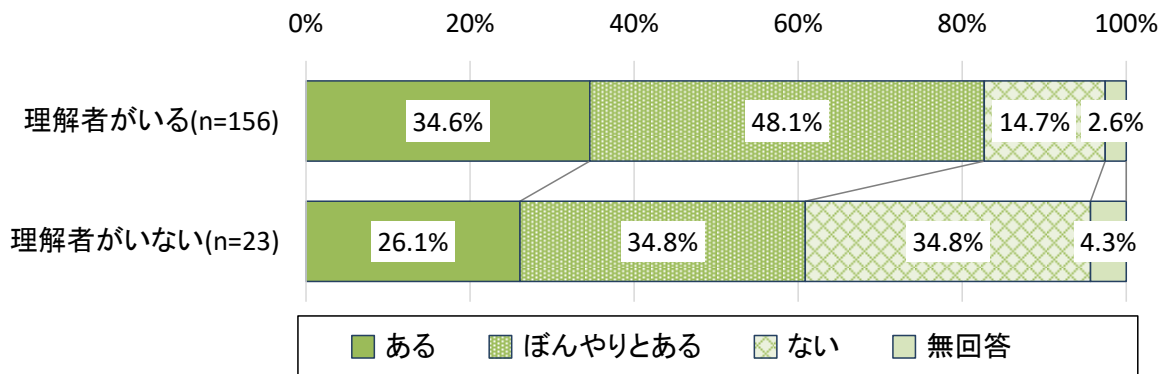
【一次本人・問 8】（単一回答）

現在、あなたのことをよく理解してくれている方はいますか。

【一次本人・問 18】（単一回答）

自分の将来について夢や希望がありますか。

図表 3-5-4 2-4-3-3 現在の理解者の有無
× 2-5-1-1 将来の夢や希望の有無



⁶² 現在よく理解してくれている方が「いない」と回答した方のデータが 23 件と少ない点に留意が必要である。